

済生会横浜市南部病院再整備事業の状況について

1 報告の趣旨

済生会横浜市南部病院（以下、「南部病院」という。）は、本市が市内方面別に整備をした、高度な医療機能を有する「地域中核病院」の第1号として、昭和58年の開院以来、南部地域において、救急、小児・周産期など、政策的医療の基幹的な役割を担っています。

現在、開院から40年が経過し、施設の老朽化や狭隘化が課題となっており、旧港南工場跡地へ移転し、再整備することが決まっています。

南部病院において、実施設計への技術的支援から旧港南工場の解体と新病院の建設工事までを一体的に実施する事業者の選定作業を進めてきましたが、働き方改革に伴う建設業界での人手不足や建築資材の高騰等による事業費の大幅な増加から、入札に応じる事業者がなく、不調となっています。

このため、現在、発注方法やスケジュールなど、一部計画の再精査を進めており、当初計画の令和10年度中の開院予定時期を見直します。

2 再整備事業の概要

(1) 新旧病院の位置



(2) 計画地の概要

(現病院)		(新病院)	
住所	港南区港南台3丁目2番10号	住所	港南区港南台8丁目4番2
敷地面積	14,456㎡	敷地面積	約23,200㎡

(3) 当初スケジュール

事業年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
南部病院	基本・実施設計等			建設工事		
			●建物計画説明会	●建設工事説明会		開院予定
関連工事 (旧港南工場)	法面保護工事		解体工事			
			●解体工事説明会			

【参考】これまでの主な経過

令和2年3月	健康福祉・医療委員会にて移転地の決定について報告
令和2年3月	横浜市と済生会で再整備に関する基本協定書を締結
令和3年12月	健康福祉・医療委員会にて再整備基本計画について報告
令和5年4月	南部病院再整備事業に関する近隣住民向け説明会の開催
令和6年3月	都市計画市素案説明会の開催
令和6年5月	都市計画公聴会の開催

3 今後の対応

- 南部病院において、基本設計の一部見直しと実施設計を進める中で、建設工事費を再精査するとともに、追加資金の確保など資金計画の見直しを行います。
- 今後、具体的な開院時期については、建設業界の動向も確認しながら、可能な限り早期の開院に向けて、南部病院と本市で改めて協議します。
- 地域に対しては、自治会、町内会の定例会等を通して、開院予定時期の見直しについて説明します。
- 都市計画手続（移転・再整備に伴う病院の区域変更）については予定どおり進め、令和6年度中の都市計画審議会に付議します。